

NO. 16

平成20年
(2008)

環境ひらかた

1
月号

ひらかた市民共同発電所第1号設置



光の峰保育園「おひさま発電所第1号」

ひらかた環境ネットワーク会議 市民共同発電所プロジェクトは、枚方に、市民の手で市民が共同して作る発電所「市民共同発電所」の設置を目指して活動しています。その第1号が「光の峰保育園」に完成しました。太陽光による発電容量3.6kWの「ひらかた・おひさま発電所」です。

年間発電量は概算3,826kWh、二酸化炭素削減効果1,203.2kg、石油削減効果868.4klが見込まれます。発電した電力は園内で使用され、余剰電力は関西電力(株)に販売する環境に優しい発電所。地震等天災でライフラインが停止した場合、日射がある限り独立電源として使用可能です。(2ページに関連記事)

目次

枚方初の市民共同発電所完成	2
枚方バースデーキャンペーン	3
ひらかた環境くらわんか塾	4
出前授業(枚方なぎさ高校)	5
各部会&運営委員会の活動	6
お知らせコーナー	7
団体紹介(江崎グリコ(株))	8

枚方初の市民共同発電所が完成



市民共同発電所プロジェクト



園内から見たソーラーパネル（雨よけにもなり、かつ日光を遮らないよう考慮して設置された）



光の峰保育園で点灯式を開催

よく晴れた 2007 年 12 月 8 日、枚方で初めての市民共同発電所の点灯式が行われました。光の峰保育園では関係者の見守る中、ソーラーによる発電で明かりを灯らせ、園児たちが“手のひらに太陽を”の替え歌で、「地球を守ろう！自然を守ろう！」と歌い、参加者一同を感激させてくれました。

お礼に歌を歌う園児たち



よる発電で明かりを灯らせ、園児たちが“手のひらに太陽を”の替



竹内市長挨拶



プロジェクトリーダー
井上理事挨拶



光の峰保育園
田中園長挨拶

プロジェクト立ち上げまでの経緯

このプロジェクト立ち上げのきっかけは、5 年程前、枚方市の地域新エネルギービジョン策定のための会議に 5～6 名の市民が加わり、環境教育や自然エネルギーを使ったシンボルスポットの必要性を提唱したことに始まります。その後、ひらかた環境ネットワーク会議のごみ・エネルギー部会と合流し、「ひらかた自然エネルギー学校」を立ち上げました。その受

講生の中からも参加者が加わり、また女性の国際的奉仕組織 国際ソロプチミスト枚方―中央との連携も可能となりました。2006 年の秋、設置場所に光の峰保育園が決定し、2007 年初めて枚方市環境保全部の協力を得て、市民共同発電所プロジェクトが正式にスタートしました。

ひらかた・おひさま発電所 第1号完成まで

プロジェクトチームは、第 1 号として太陽光による市民共同発電所を設置すべく、毎月ミーティングを持ち、自然エネルギーを取り入れる必要性を説明するイベントを企画し、PR に走り回りました。そして、250 件を超える市民、事業所や諸団体の協力と募金を得て、社会福祉法人恵裕会 光の峰保育園の屋根にソーラーパネル 20 枚を設置、発電容量 3.6kW の市民共同発電所が完成しました。



園内に設置された発電量の表示盤

プロジェクトメンバーの思い・・・

「温暖化防止のシンボルスポットへ！」

この「ひらかた・おひさま発電所第 1 号」は、温暖化をストップするために、一人ひとりが仕事や生活の場で出来ることを手がけ、同じ思いの人たちが協力し、連携して地球を守る、その拠点（シンボルスポット）としての役割が期待されています。改めて、皆様のあたたかい励ま



園児と一緒に記念撮影

枚方バスデーキャンペーン

公共交通でめぐる枚方八景スタンプラリー

枚方市制施行 60 周年記念事業として、1 ヶ月イベント「公共交通でめぐる枚方八景スタンプラリー」(11 月 1~30 日)、1 日イベント「バス! のってスタンプラリー」(11 月 11 日)を行いました。

★特別開催 11 月 11 日

「バス! のってスタンプラリー」報告

「松村先生のバスとまちのお話し」



バスマップやお菓子入エコバック配布

参加者数 149 名(スタンプラリー参加者 84 名、アンケート参加者 65 名)。9 時 30 分より受付開始、サイコロを振り、バス乗り場と最初の行き先を決め、A1 版「枚方バスデーバスタウンマップ」、スタンプシート、お菓子が入ったエコバックが配られました。

スペシャルバスを特別運行

10 時より枚方市とひらかた環境ネットワーク会議の挨拶、大阪大学の松村准教授による「バスとまちのお話し」、ルール説明を聞き、10 時半頃からそれぞれ出発していきました。

ルールは、枚方八景のうち 4 箇所以上を回り、岡東中央公園に帰って来るといったもの。スタンプポイントによって、2 ポイントのところもありました。

受付で振ったサイコロで、“スペシャル”に当たった 25 名はスペシャルバスに乗っ



京阪バス「歯科大学前」バス停

てスタート。樟葉宮、牧野、津田国見山を回った後、自由行動となりました。

ガラガラくじで景品を当てる



スタンプポイントを引く参加者

戻ってきた人から逐次、ガラガラくじを引いてもらい(5 ポイントまで 1 回、6 ポイント以上 2 回)、1 等から 6 等までの景品が当たりました。4 時頃には市長が来場され、1 等当選者に景品が授与されました。



市長から景品授与される 1 等当選者

「バス停とルートがわかりやすい」の声

参加者のアンケート結果より、バスタウンマップについて「バス停とルートがわかりやすい」と「使いやすい」を合わせて 92%。公共交通にこれからはもっと乗ってみたいと思ったかの質問には、「とても思った」と「思った」で 87%。

主催：ひらかた環境ネットワーク会議、枚方市
支援：(財)大阪府都市整備推進センター
協力：京阪バス、京阪電気鉄道、江崎グリーコ
後援：国土交通省近畿運輸局、大阪府

★1 ヶ月キャンペーン「公共交通でめぐる枚方八景スタンプラリー」報告

応募総数 55 件 当選者数 30 名

当選者の発表は、ひらかた環境ネットワーク会議ホームページ上で行います。

第3期ひらかた環境くらわんか塾

今年で3期目になる『ひらかた環境くらわんか塾』講座は、参加申込み22名を得て、9月29日にスタートしました。この講座の目的は、基礎編（5回）・応用編（3回）の全8回を通して“S-E-M-Sによる環境教育活動”をサポートすることができる「環境教育サポーター」を育成することです。

「環境教育サポーター」には、市域の学校園のS-E-M-S審査に同行し、地域や学校園などの環境教育活動のサポート役として活躍することが望まれています。

また、今年も大阪府環境保全活動補助金事業に採択され、8月にはチラシ2万枚を枚方市の各駅周辺の新聞に折込みしたところ、多くの問い合わせをいただき、市民の皆さんの環境教育に対する関心の深さを感じました。

これまでに終了した各講座の様様（敬称略）

◆第1回 9月29日（土）10時～12時 メセナひらかた5F職業講習室

【テーマ】環境マネジメントシステムとは何か

【講師】中前孝雄（ひらかた環境ネットワーク会議）

【第2回】
の説明に
耳を傾ける
学校版EMS



◆第2回 10月27日（土）10時～12時

メセナひらかた5F職業講習室

【テーマ①】S-E-M-S概要

【講師①】田中かおり（環境総務課）

【テーマ②】環境教育推進指針及び「ひらかたの環境」の概要

【講師②】多田 憲史（環境総務課）

◆第3回 11月17日（土）10時～12時

メセナひらかた5F職業講習室

【テーマ】環境コミュニケーション・トレーニング

【講師】荘木優美（有限会社コスモプランニング）



【第3回】
の
シヨンの
トレー
ニング
グ

【第4回】
局で説明
を受け
る枚方市
水道



◆第4回 11月28日（水）10時～16時 市内見学

【テーマ】市内の環境施設の見学（穂谷川清掃工場、関西リサイクルシステムズ(株)、枚方市水道局）

【講師】小篠和之（ひらかた環境ネットワーク会議）

◆第5回 12月15日（土）10時～12時 メセナひらかた5F職業講習室

【テーマ】企業、学校でのEMSの実践

【講師】坂田智幸（ひらかた環境ネットワーク会議）、濱谷哲次（枚方なぎさ高校）

「S-E-M-S」
審査員派遣

平成18年から枚方市と取り組んでいる、枚方市学校版環境マネジメントシステム「S-E-M-S」の審査員を、今年も「ひらかた環境くらわんか塾」終了生である「環境教育サポーター」から7名派遣します。昨年度、書類審査・訪問審査を実施し、その結果、全75学校園が「環境保全に取り組む学校園」として認定されました。今年度は認定後1年が経過し学校園での取り組みが継続して実践されているかどうか、枚方市、枚方市教育委員会、環境教育サポーターによって審査します。ご興味のある方は、学校園の様々な環境保全活動を発見することができるこの取り組みに、ぜひ参加ください。

枚方なぎさ高校で環境出前授業を実施

環境教育サポート部会では、12月13日、大阪府立枚方なぎさ高校で環境出前授業を実施しました。今年で3回目となる枚方なぎさ高校での環境出前授業は、昨年に引き続き、ひらかた環境ネットワーク会議の他部会（まちづくり部会、公共交通部会）、団体会員、枚方市の協力のもと、15テーマの授業を準備し、1年生全員（約280名）を14のグループに分け、1グループにつき1、2テーマの授業を行いました。実習や講義を織り交ぜた内容に、生徒達からは「おもしろかった」という声が多く、環境問題へ関心をもつ、ひとつのきっかけになったのではないかと思います。

すっかり定着したこの企画に、担当の先生は「生徒だけでなく教師も少しずつ環境保全への関心が高まっている」とおっしゃっていました。今後も多方面から環境を捉え他部会との連携も深めて、多様な授業を展開していきたいと思います。ご興味のある方は、ぜひこの活動へ参加してください。



授業前に打合せをする講師の方々



自転車のパンク修理を教わる
【枚方エコサイクル】



自分の手で竹とんぼを作る
【御殿山竹遊会】



エネルギー問題と地球環境問題を同時に考える
【環境教育サポート部会】

テ ー マ	講師名（所属など）
枚方市の環境と淀川について	瀬野 卓男（まちづくり部会）
企業の環境への取り組み	永田 正純（京セラミタ㈱）
環境問題を考える ～琵琶湖について～	橋田 悟（環境教育サポート部会）
エネルギー・省エネ活動	矢野 修（環境教育サポート部会）
交通双六でひも解く交通問題	鎌田 徹（公共交通部会） 他 公共交通部会メンバー
環境問題と市民活動	田中 晃（環境教育サポート部会）
環境とデザイン	谷口 興紀（環境教育サポート部会）
燃料電池	高橋 英二（環境教育サポート部会）
風呂敷でエコライフを！	沼本 啓子（環境教育サポート部会）
自転車から見える環境問題と解決策	河上 勲（枚方エコサイクル）
昔の竹とんぼをつくってみよう	赤城 正幸（御殿山竹遊会）
ごみの現状と減量化の取り組み ～スマートライフ行動の推進～	山上 進（環境事業部 減量業務室）
環境、ケンチク、ひと	加藤 純（まちづくり部会、一級建築士事務所作人）
水処理、きき水調査、枚方市の下水について	水道総務課
枚方市の下水について・生活排水学習	下水道総務課、環境公害課

●各部会の活動



ごみ・エネルギー部会

★**ひらかた自然エネルギー学校 (RESH2007)**：本年度の講座は第5回まで終了し、第6回（1月19日）および第7回（2月16日）を残すのみとなりました。市内の団体・個人の方々からのご協賛、また各分野で高名な講師の方々のご協力を得て、熱心な受講生と共にスタッフも毎回充実した講座を続けています。第6回は滋賀県立大学野間講師による「バイオマス利用」、第7回（最終回）は大阪ガス㈱濱研究主幹による「自然エネルギーと住まい方・エコ住宅」および受講生によるグループ発表「自然エネルギー普及への思い」などを予定。

★**生ごみ資源化**：蹉跎西小学校の給食残さい、関西外国語大学中宮学舎の食堂残さい、枚方セラピー牧場の馬糞尿、不二屋食品㈱のおから、一般家庭からの生ごみ、剪定枝チップなどを各排出元のご協力を得て堆肥化し、小学校花壇や穂谷自然農園などで土壌への還元を実証しています。本活動は焼却ごみの減量化にもつながる有機性廃棄物（食品残さいほか）の資源化を目指したもので、「地産地消プロジェクト」の一端を担うものでもあります。

公共交通部会



★**レンタサイクル**：枚方エコサイクル・シルバー人材センター・枚方市とともに進めてきた牧野駅におけるレンタサイクル試行は、好評に付き1年間延長が決定しました！本格実施に向けて、メンテナンス体制や発生時の危機管理体制など検証して行きます。



★**市制施行 60 周年記念事業「枚方バースデー」**：①市内すべてのバス停とバスルートが入った A1 判マップ（枚方バースデーバスタウンマップ）は、枚方市役所及び支所、生涯学習市民センター等の公共施設、市内バス案内所、枚方市駅と樟葉駅で配布中です。②2月2日（土）「ひらかたエコフォーラム 2008」で枚方バースデーの報告をします。③次年度のバスイベントを企画中です。“こんな組み合わせだと面白い”、“開催時期はこの季節がいいのでは”など、一緒に考えてくれる人やイベント当日のお手伝いを募集中です。



環境教育サポート部会

★**文科省研究指定校の支援**：2年前から取り組んできた文科省委嘱の「総合的な学習の時間における NP0 等の外部人材の活用推進事業—環境教育—」では、平野小学校（10月12日）と招提中学校（11月16日）の研究発表会がありました。両校には環境出前授業、講演会の講師派遣、S-EMS のアドバイス等のサポートをさせていただき、その成果を子どもたちが作った壁新聞、感想文などから実感しました。先生方も外部人材活用の良さを再認識され、これからも継続して当部会と連携した環境教育を続けていきたいということでした。

★**枚二小エコクラブ**：当部会では、地域の環境をチェックするための指標づくりと、それを利用した子どもたちによる“まち歩き”を計画しています。12月17日（月）枚二小エコクラブでは、学校の校庭を公園と見立てた「まち歩きのシミュレーション」を行いました。子どもたちは、チェック項目を確認していく中で、毎日通っている学校内に新しい発見をしたようです。これを実際のまち歩きに広げていく予定です。一緒にまち歩きをしてくださる方を募集しています。

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。

☎072・847・2286

日 時：2008 年 1 月 14 日（月）成人の日
午後 2 時～4 時 30 分
場 所：岡東中央公園（雨天時 枚方市民会館内）

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局までお申込みください。

「環境のへえ～」 Vol.14

『 携帯電話 = 57.9kg 』

普段何気なく使っている携帯電話ですが、環境負荷はどれ位でしょう？ 貴金属の資源となりますが、リサイクル率はどれ位でしょう？

日経エコロジーの記事「多機能な携帯電話 長期使用とリサイクルの促進を」からピックアップ。タイトルは「携帯電話 1 台あたりの CO₂ 排出量」です。

携帯電話のライフサイクル CO₂ は、57.9kg。内訳は、部品・部材 95.5%、組立 2.3%、廃棄 1.1%、使用 1.0%、輸送 0.2%（シャープ 2002 年環境報告書のデータ）。

充電など使用時の影響は小さい。大きいのは部品・材料。新製品が出るたびに買い換えると影響が大きいため、長期使用が望ましいことがわかります。

なお、平均的な買い換えのペースは 2 年に 1 回程度。そして携帯電話の回収率は年々低下傾向にあります（2001 年 31%、2006 年 14%）。

引き出しの中に携帯電話が・・・という方、メーカーに関係なく、無料で回収が行われています。

- ・モバイル・リサイクル・ネットワーク
・NTTドコモ <30秒で読む環境情報！>

—地域とともにすすめる環境活動—
ひらかたエコフォーラム2008

今年で2年目となる「ひらかたエコフォーラム」は、広く市民の皆さんを対象として、市内で取り組まれている様々な環境活動の内容を知



り合い、地域で連携することの大切さを共有・啓発することを目的としています。

皆様、お誘いあわせの上、
ご参加下さい。

日時：2008 年 2 月 2 日（土）**入場無料・参加自由**
午前 10 時 20 分～午後 4 時 40 分

会場：メセナひらかた 2階多目的ホール

内容：環境表彰および環境活動の取り組み発表
シンポジウム（基調講演・ハ°ネレデ°イスカッション）
ブース展示・パネル展示

主催：NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

共催：枚方市、枚方市教育委員会、環境省きんき環境館

会員数 220 名：正会員 187 名（個人 158、非営利団体 18、営利団体 11）

賛助会員 33 名（個人 33、非営利団体 0、営利団体 0）※平成 19 年 12 月 31 日現在

すべての企業活動で、ISO14001 の認証を取得

生産工程だけでなく全ての企業活動で環境保全

江崎グリコでは、すべての企業活動で環境保全の取り組みが大切という考えで、環境保全活動を進めています。生産部門だけでなく、製品の企画、原材料の調達や輸送、本社部門や営業部門でも環境活動に取り組み、2000 年には本社とすべての生産子会社、2001 年には営業 おいしさと健康 拠点を含めた全社で ISO14001  の認証を取得しました。

すべての生産子会社でゼロエミッション

グリコ製品をつくる江崎グリコの生産子会社は、生産工程で発生するすべての廃棄物をゼロにするゼロエミッションを、2003 年度に達成しました。工場では発生する廃棄物を減らす取り組みを進めながら、廃棄物は肥料や飼料に再利用されています。

江崎グリコグループの環境活動は、
<http://www.ezaki-glico.net/kankyo/index.html> でご覧になれます。

省エネ活動を含め、地域の清掃活動にも参加

昼休み中の消灯、OA 紙の再利用など、事務所での省エネ活動以外にも、大阪府が主催して行われる「クリーン大阪」に毎年参加し、本社がある JR 塚本駅から本社までの通勤ルートの清掃も実施しています。

また、環境省が呼びかける「CO₂削減・ライトダウンキャンペーン」に賛同し、2007 年も戎橋のグリコのネオンサインを含め全国 7 ヲ所のネオンサインを消灯しました。



地域の清掃活動に参加する社員

編集後記

あけましておめでとうございます。みなさんの今年の抱負は何でしょう。人のちょっとした優しさに胸が熱くなることが多い私ですが、最近ふと、むかし母から言われた言葉を思い出しました。「素敵な顔というのは持って生まれるものではなく、自分自身の考えや行いが作りあげていくもの」。今の私に必要な言葉だなあと感じ、「あらゆる出来事をもっと優しい気持ちで受け止められるように…」これを今年の抱負にすることにしました。ボランティア団体だからこそできることを模索しつつ、活動に関わる皆さんの気持ちを受け止め合いながら、活かし合いながら活動に繋がっていきけるよう、日々精進です。(米谷 記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第 16 号

平成 20 年 1 月 1 日発行 (年 4 回発行)

発行：(特活) ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町 5 番 1 号

サブリ村野内 (旧村野小学校)

電 話 072-847-2286

F A X 072-847-2286

E メール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：廣田 武司

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています
白色版は100%です

この会報誌は古紙再生紙・ソイインクを使用しています。